



2024年12月期 中間決算説明会

2024年9月12日
市光工業株式会社

VISION IN MOTION



目次

- ① 2024年12月期 中間決算概要(2024年1月～6月)
- ② 2024年12月期業績見通し(2024年1月～12月)
- ③ 持続的な企業価値の向上に向けて
- ④ PBRに関して

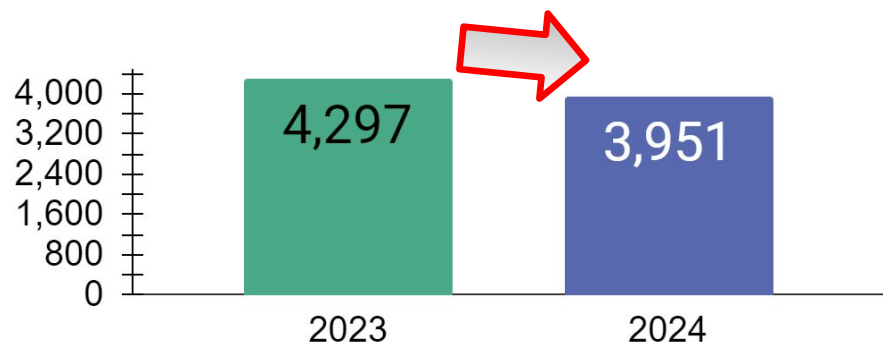
01 2024年12月期 中間決算概要 (2024年1月～6月)

売上高とマーケット生産台数(前年同期比較)

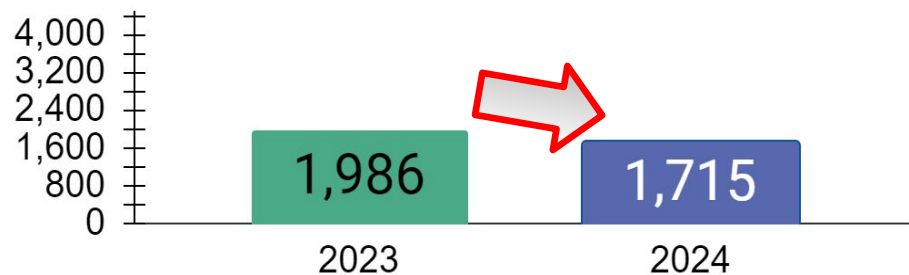
2024年上期マーケット生産台数 *

単位:千台

Japan 前年比 ▲8.1%



ASEAN 前年比 ▲13.6%



*出典 マークラインズ

2024年度上期売上高(ミラー事業除く)対マーケット生産台数 為替を影響を除く

2024 vs 2023	売上高 増減率	マーケット 生産台数 増減率	売上高対 マーケット生産台数
市光グループ	▲8.9%	▲9.8%	0.9ポイント

2024 vs 2023	売上高 増減率	マーケット 生産台数 増減率	売上高対 マーケット生産台数
日本	▲9.8%	▲8.1%	▲1.7ポイント
アセアン	▲6.6%	▲13.6%	7.1ポイント

- ・市光グループ: 日本+アセアン
- ・日本: 市光単体
- ・アセアン: マレーシア, インドネシア, タイ

2024年上半期累計の売上高増減率は
ASEAN(市場比7.1ポイント凌駕)に牽引され
市場を0.9ポイント上回る

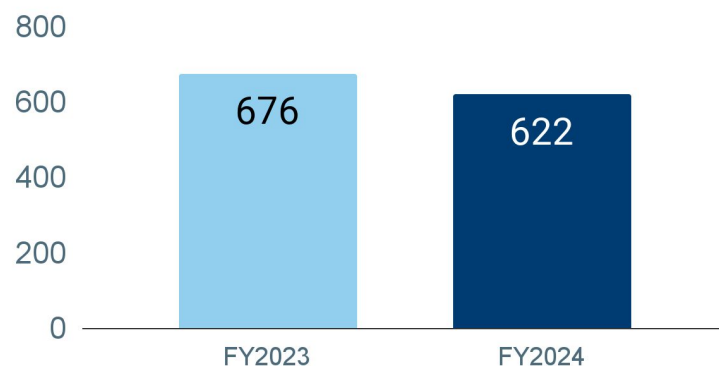
2024年12月期 中間連結業績概要(前年同期比較) –ミラー事業を除く

- ◆ 2023年の上半期比売上減少は、日本の認証問題などの影響が主
- ◆ 売上減少に加え、円安による悪影響がアセアンでの改善(不良コスト低下等)を上回り、結果として2024年上半期は営業利益減少

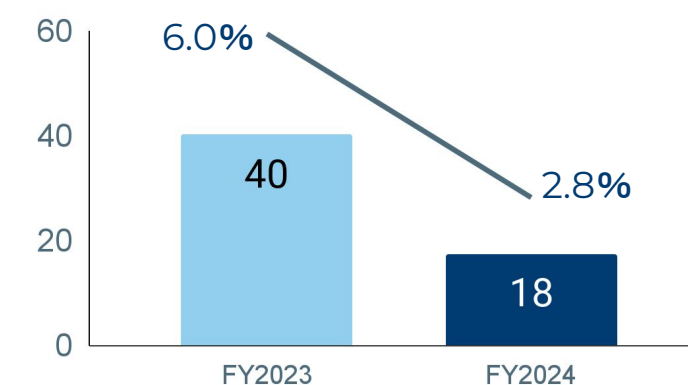
単位: 億円/四捨五入

	FY2023実績 (2023年1~6月)	FY2024実績 (2024年1~6月)	増減額 (前年対比)	増減率
売上高	676	622	① ▲55	▲8.1%
営業利益	40	18	② ▲23	▲56.3%
営業利益率	6.0%	2.8%	②/① 41.3%	▲3.1ポイント

連結売上高推移



連結営業利益推移



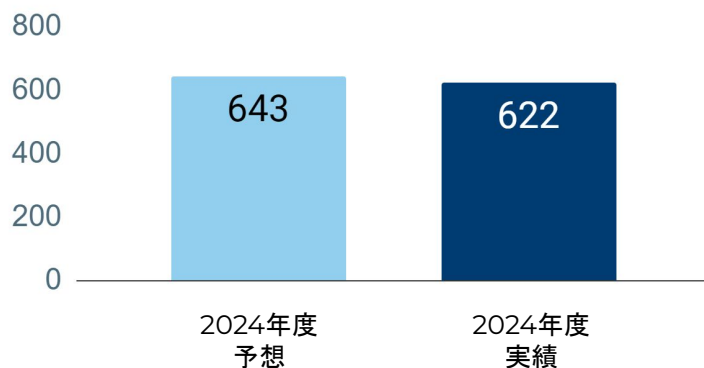
2024年12月期 中間連結業績概要(対予想比)

- ◆ 売上高: 日本の認証問題等を主要因として、生産水準が想定以上に低迷
- ◆ 営業利益: 売上の低迷に加え、急激な円安による悪影響、運送コスト上昇、改善は進んでいるものの不良コストの目標未達などが影響

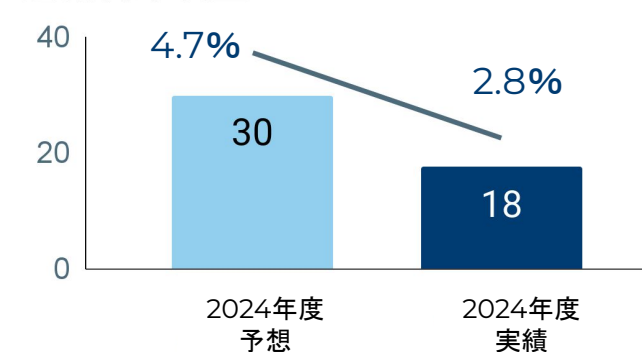
単位: 億円/四捨五入

	FY2024予想 (2024年1~6月) * 2024.2.14.東証発表	FY2024実績 (2024年1~6月)	増減額 (対予想比)		増減率
売上高	643	622	①	▲21	▲3.3%
営業利益	30	18	②	▲12	▲41.4%
営業利益率	4.7%	2.8%	②/①	58.6%	▲1.8ポイント
経常利益	35	23		▲12	▲33.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	22	14		▲8	▲37.2%

連結売上高



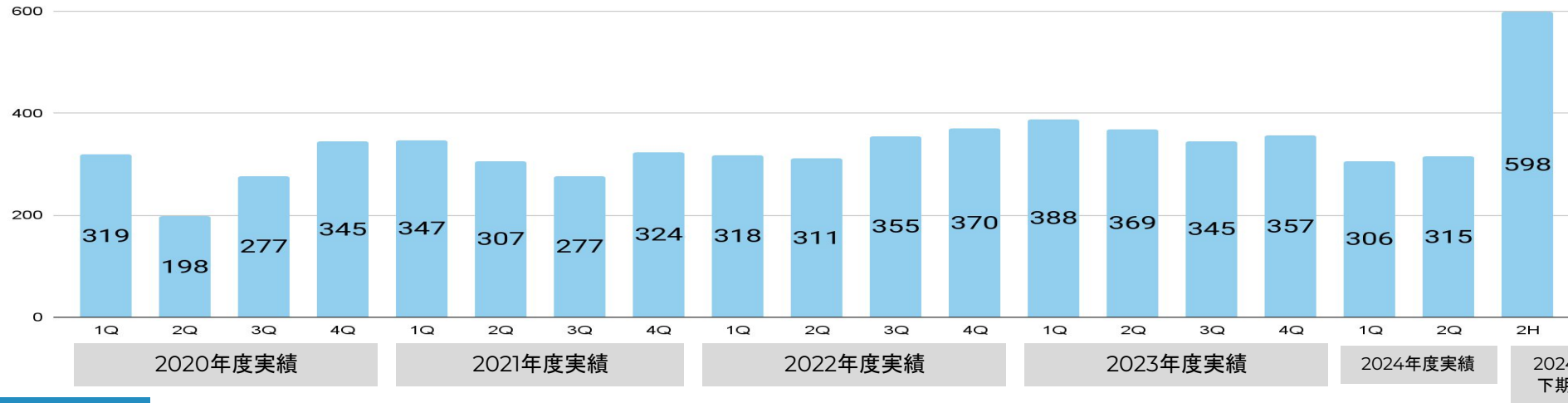
連結営業利益



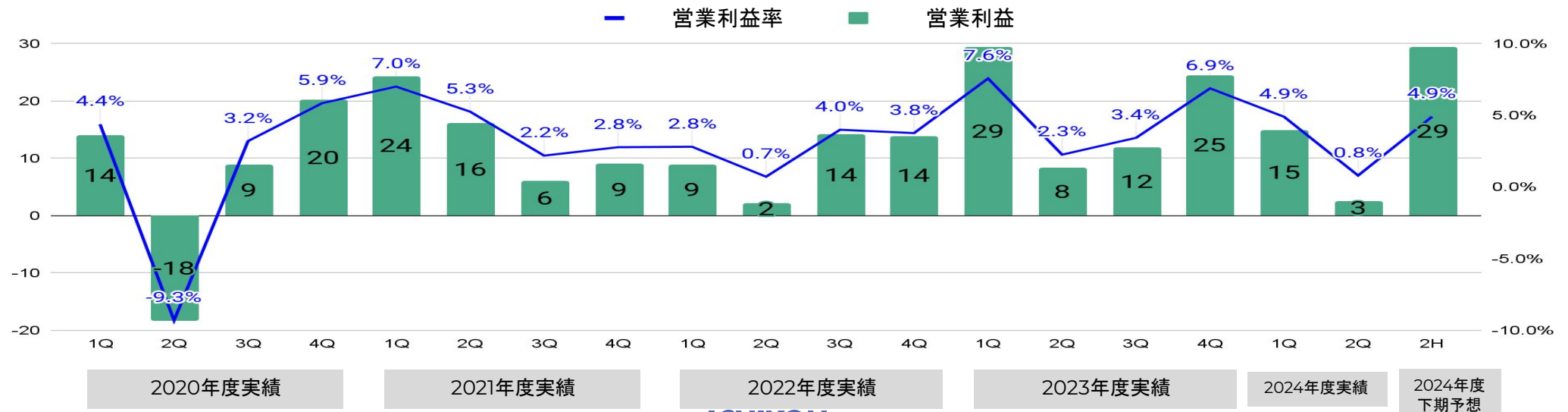
四半期 業績推移

売上高

単位: 億円/四捨五入



営業利益



2024年12月期中間 地域別業績(前年同期比較) -ミラー事業を除く

- ◆ 国内: 認証問題等による **売上減少** に加え、**円安による輸入資材コストの上昇** 等の影響を受け、**営業利益は低下**
- ◆ 海外: **売上高はほぼ前年並み** (インドネシアでの販売数量減少を円安が相殺)。
営業利益は 不良コストの改善と生産性向上 があったものの **研究開発費の増加等** により **対前年減少**

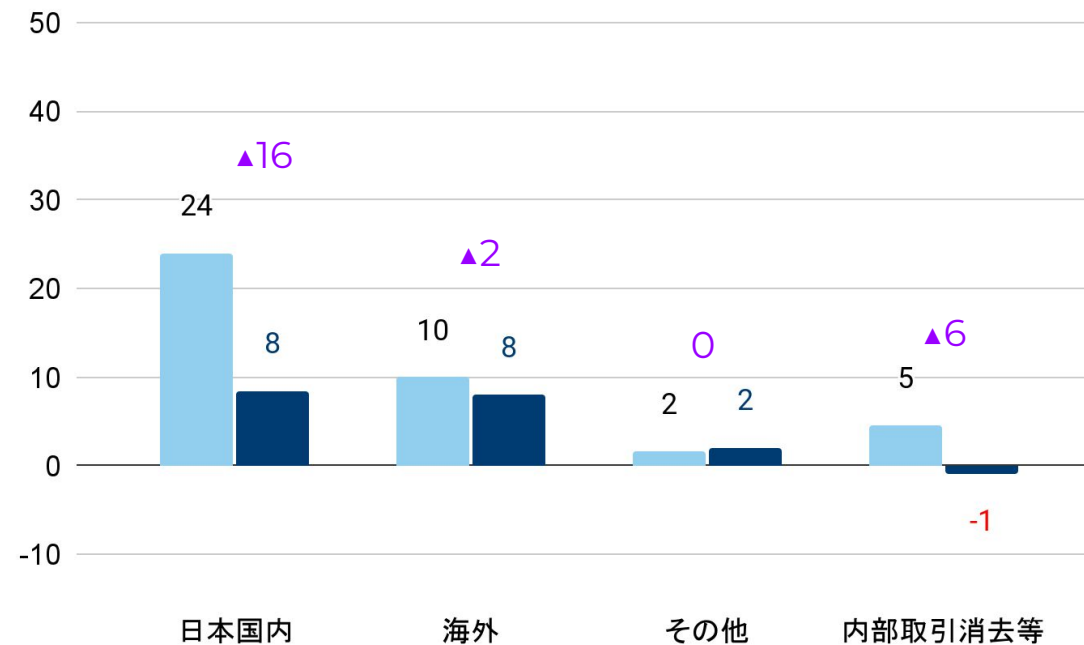
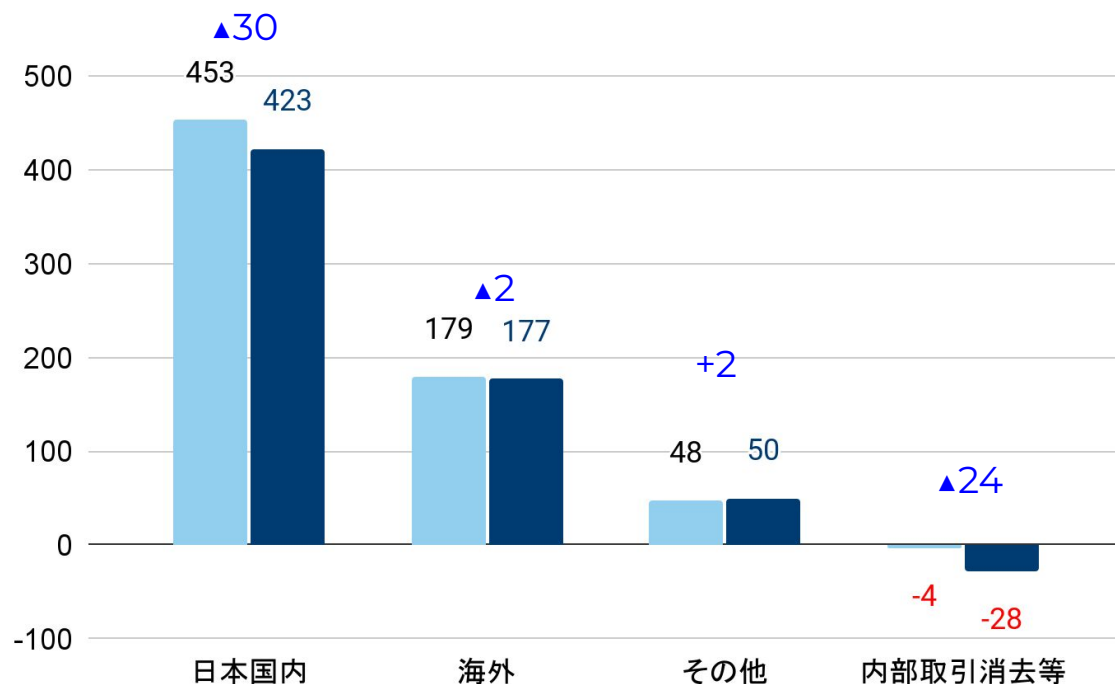
2023年12月期 中間

2024年12月期 中間

単位: 億円/四捨五入

売上高 676⇒622(前期比 ▲55)

営業利益 40⇒18(前期比 ▲23)
 営業利益率 6.0%⇒2.8%(前期比 ▲3.1ポイント)

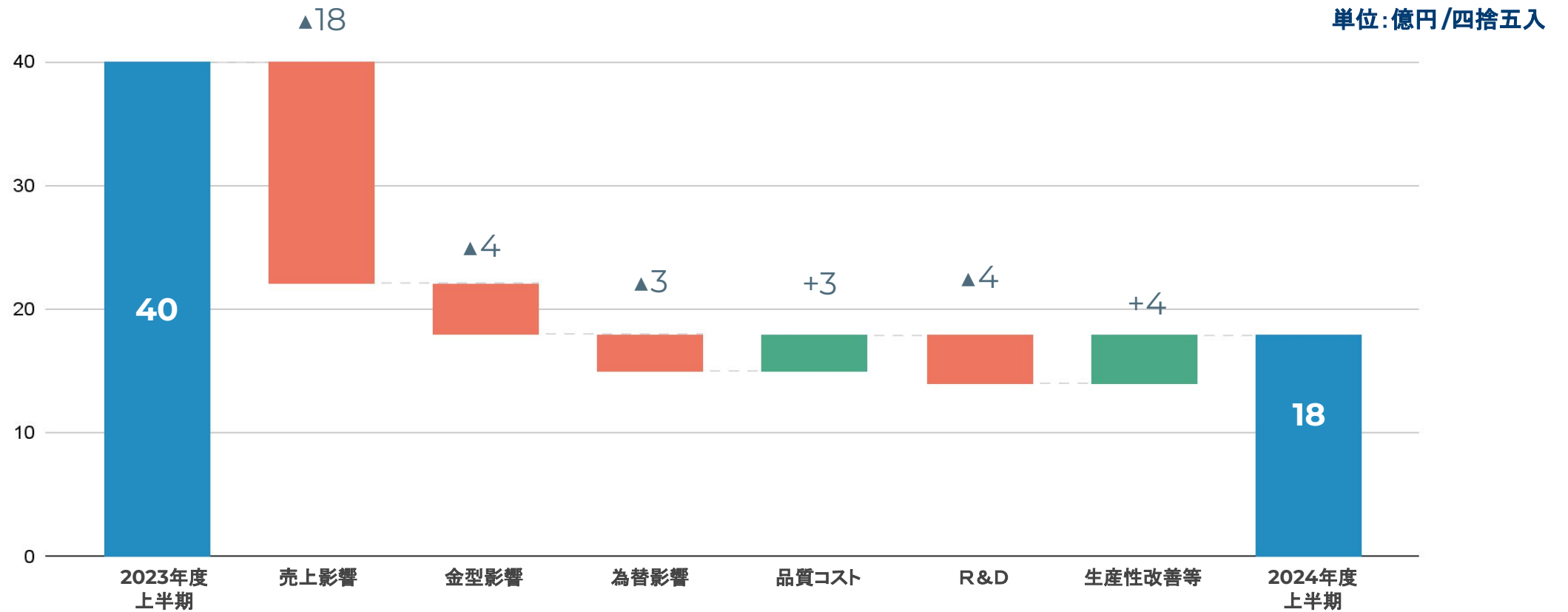


日本国内: 伊勢原・藤岡・本社・九州市光(営業利益のみ)、海外: マレーシア・インドネシア・タイ、その他: 用品事業(PIAA)

2024年12月期 中間業績のポイント(対前年同期比) -ミラー事業を除く

【営業利益】

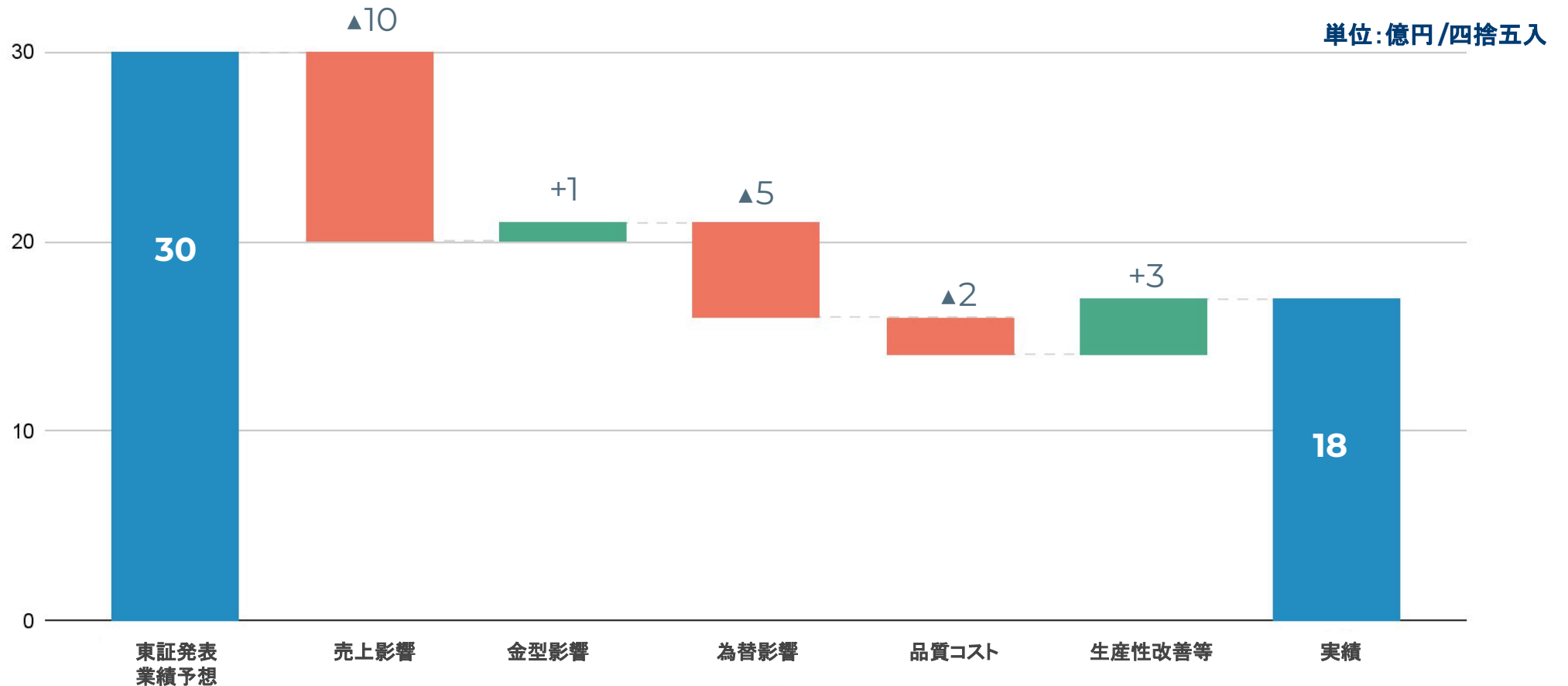
- ◆ 品質コストと生産性は改善 したものの、認証問題などによる 売上の減少と円安による輸入資材価格高騰 により、営業利益は悪化



2024年12月期 中間業績のポイント(対予想比)

【営業利益】

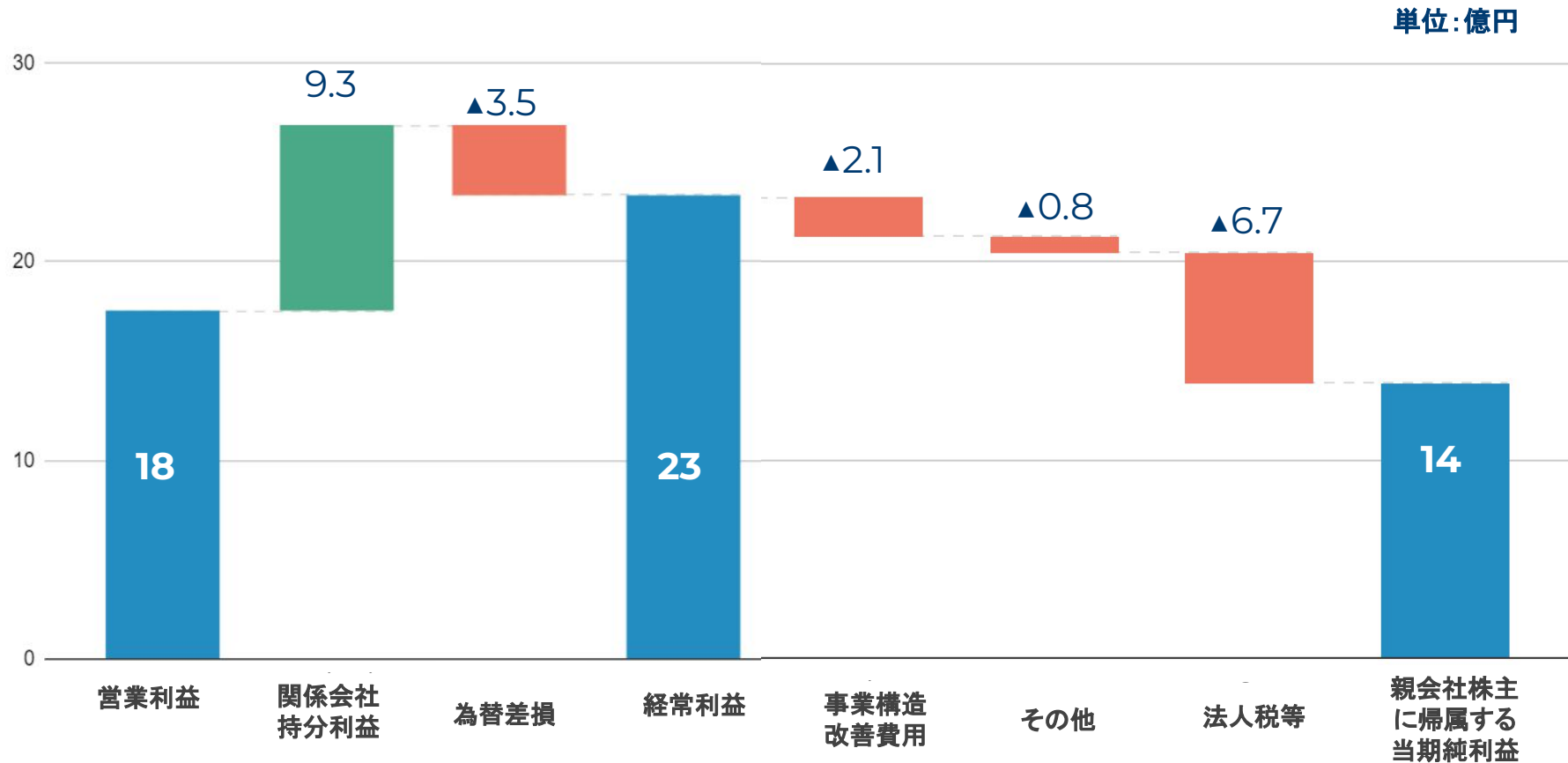
- ◆ 生産性改善の改善効果に加えコスト管理の徹底を図ったものの、営業利益は、生産水準の低迷(認証問題など)、円安による輸入原材料費への影響、品質コストの目標未達(水準自体は大幅に改善)により悪化



2024年12月期 中間業績のポイント

【営業利益～経常利益～親会社株主に帰属する当期純利益】

- ◆ ヴァレオ中国との在中國ライティング合併会社からの持分利益が好影響



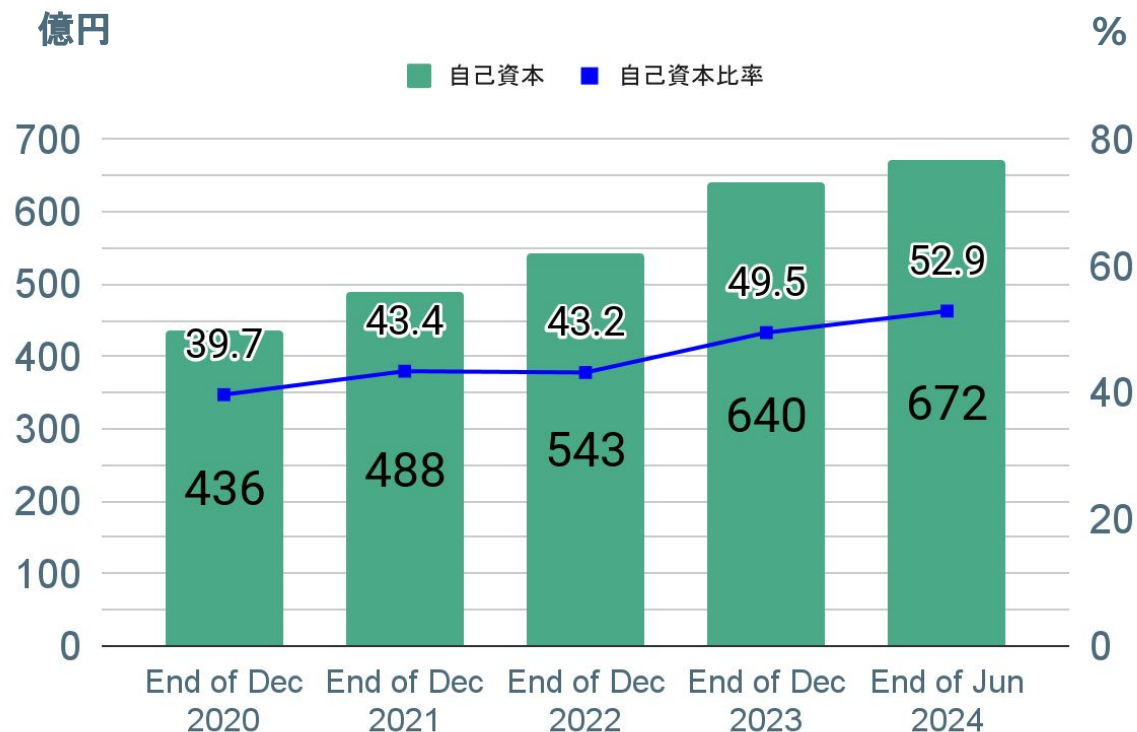
2024年12月期 中間 連結貸借対照表(前年度期末比)

単位:億円/四捨五入

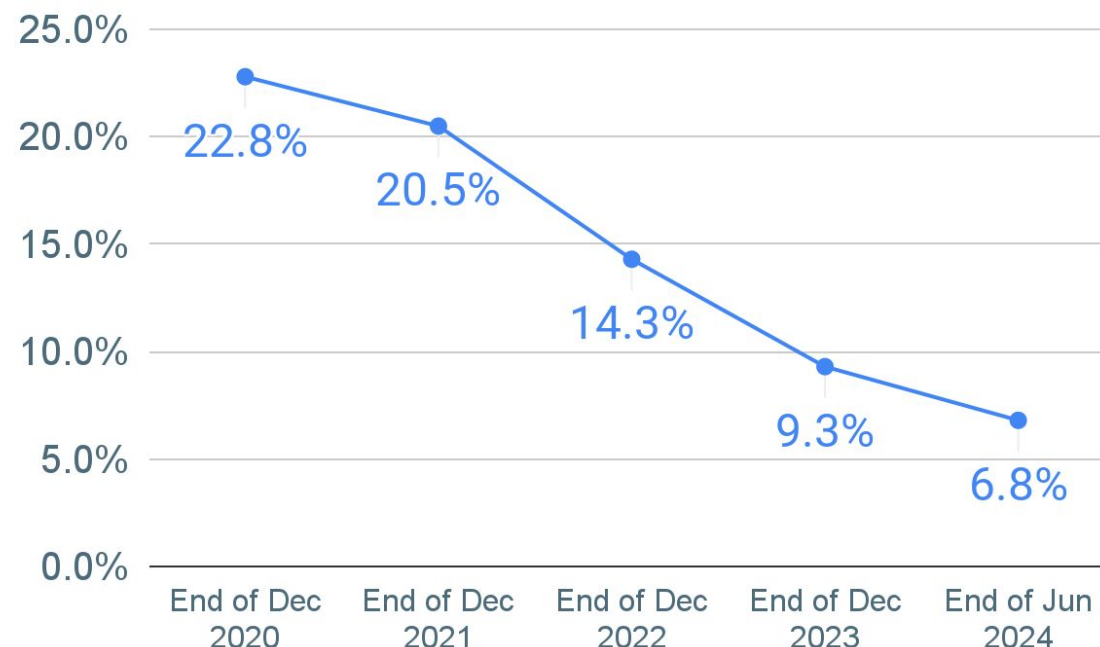
	2023/12	2024/6	増減
現金及び預金	89	98	9
棚卸資産	94	95	2
有形固定資産・無形固定資産	398	390	▲8
その他	713	688	▲24
資産の部	1,294	1,272	▲22
有利子負債	60	46	▲14
その他	587	546	▲41
負債の部	647	592	▲55
株主資本	630	639	9
その他包括利益累計額	10	34	23
非支配株主持分	7	8	1
純資産の部	647	680	33

自己資本比率と D/E レシオ

自己資本比率は 50%を突破



D/E レシオは着実に改善



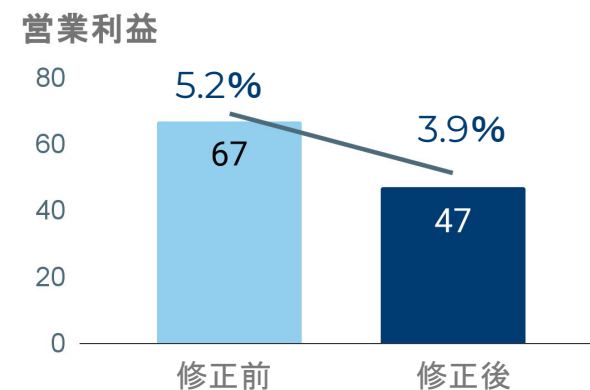
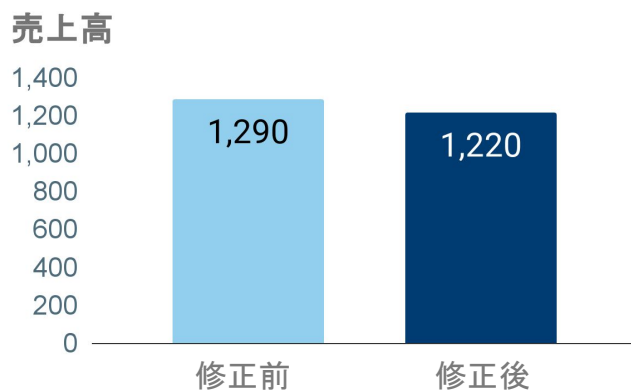
02 2024年12月期業績見通し (2024年1月～12月)

2024年12月期 連結業績見通し（修正前比）

- ◆ 売上：アフターマーケット子会社（PIAA）の売却、認証問題等による上期生産台数の減少 が影響
- ◆ 営業利益：生産台数の減少 と対ドル円安 の影響

単位：億円/四捨五入

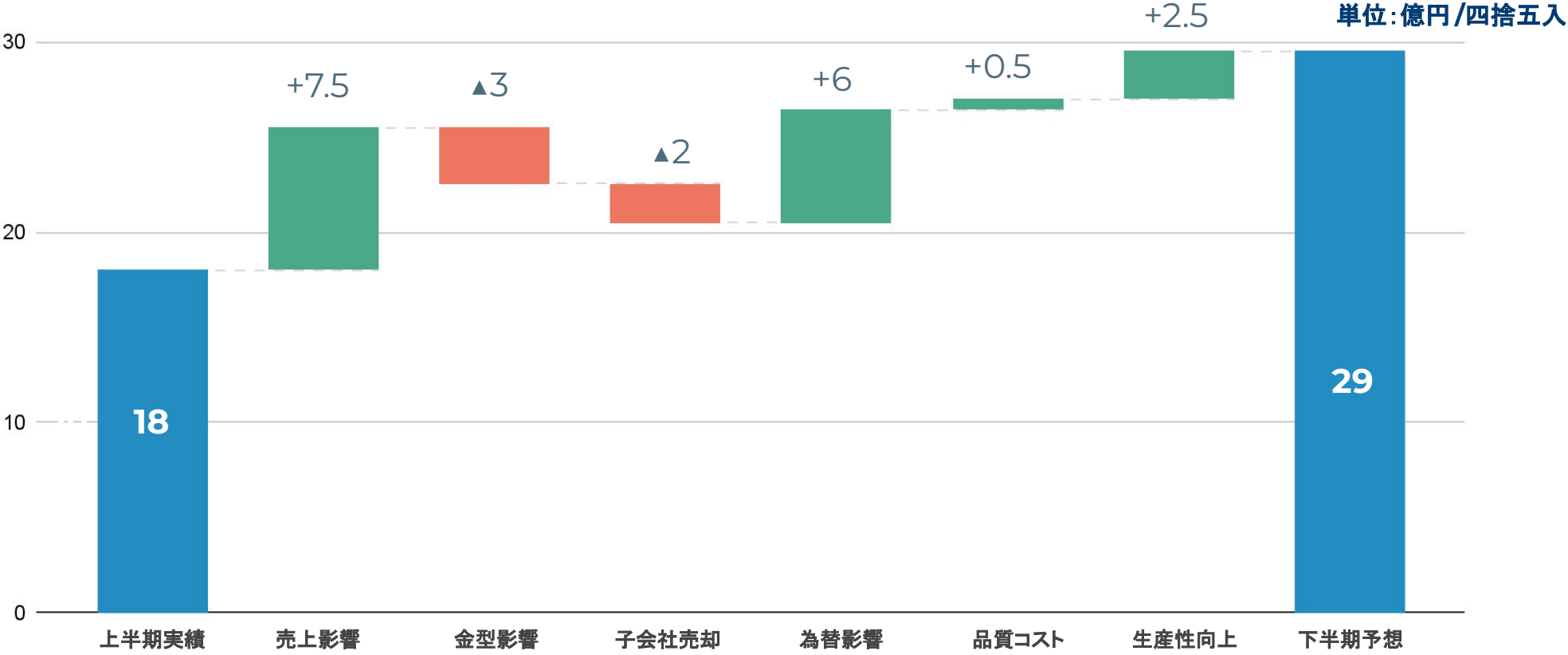
	FY2024修正前 (2024年1～12月) 2024.2.14.東証発表	FY2024修正後 (2024年1～12月) 東証発表修正	増減額 (予想比)		増減率
売上高	1,290	1,220	①	-70	-5.4%
営業利益	67	47	②	-20	-29.9%
営業利益率	5.2%	3.9%	②/①	28.6%	-1.3ポイント
経常利益	75	57		-18	-24.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	50	43		-7	-14.0%



2024年12月期 上半期実績 vs 下半期予想

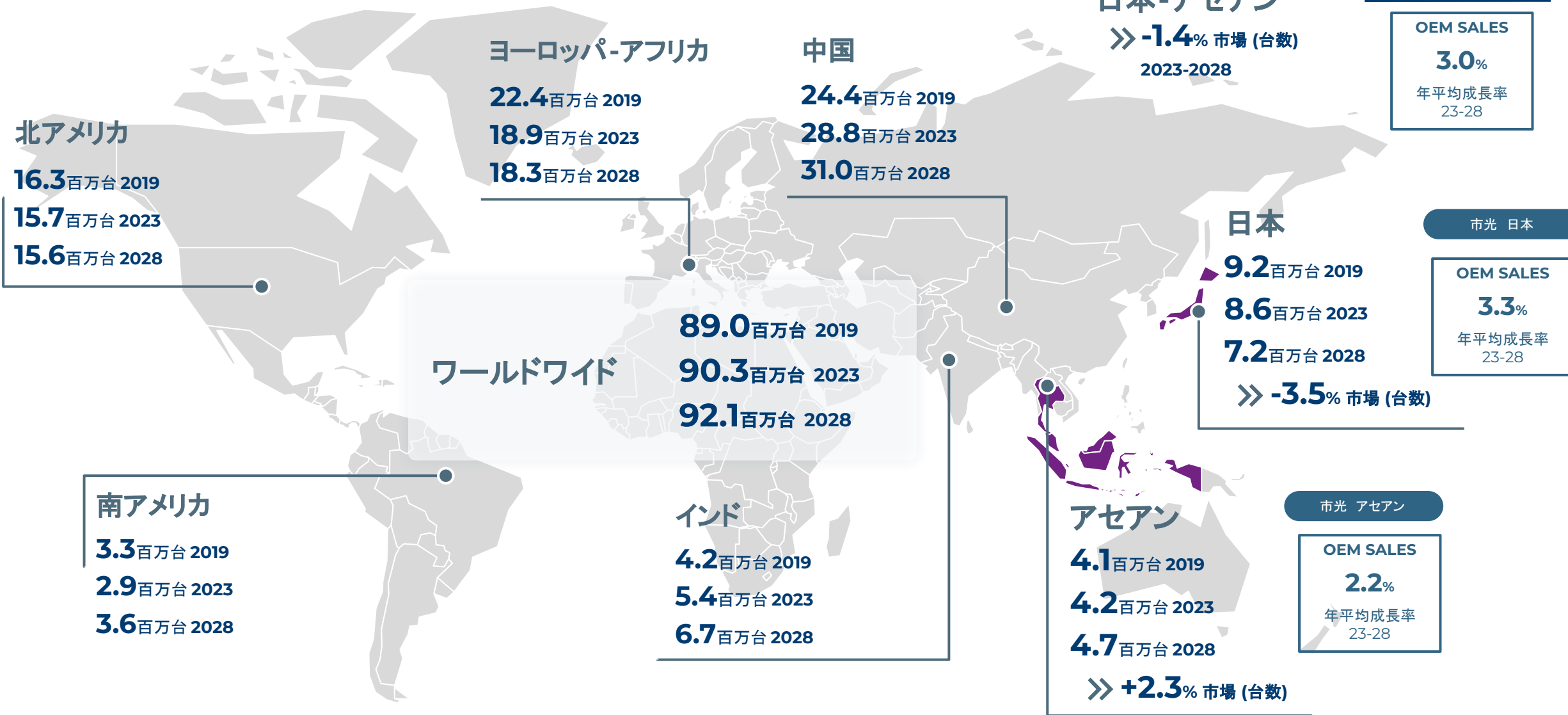
【営業利益】

- ◆ 日本における生産台数の回復、為替影響の価格転嫁、および不良率改善等により、金型収入の減少、子会社 (PIAA) 売却によるマイナス影響を補い、上期比、営業利益の改善を見込む



03 持続的な企業価値の向上に向けて

全世界マーケット成長 2023-2028



成長戦略

将来の成長への**基盤強化フェーズ**

成長達成フェーズ

1200億円～

売上高 安定的に確保

成長戦略オプション

新規顧客 & 新プロジェクト

新テクノロジー

成長達成フェーズ

1400億円～

売上高 成長

売上高
2028年影響額

120 億円

80 億円

FY2024

FY2025

FY2026

FY2027

FY2028

MOBILITY REVOLUTION



ELECTRIFICATION

車両の電動化の加速



AUTOMATION

ADASや自動運転技術の加速



SOFTWARE-DEFINED VEHICLE(SDV)

ソフトウェアファースト
ユーザー体験の創出

電動化、自動運転、SDV が新たな機会とソリューションを生み出す

IN THIS REVOLUTION **LIGHTING IS EVERYWHERE**



ELECTRIFICATION



APPEALING

車両のブランドアイデンティティ
を高める創造的で先進的な
シグナリングシステム



AUTOMATION

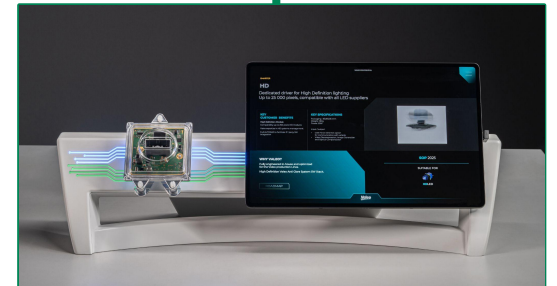


SAFER

ドライバーへ最大の視認性を提供
道路利用者に車両の動きを伝える
ライティングシステム



SOFTWARE-DEFINED VEHICLE



SYSTEM

多様なライティングユニットと
シグナリング機能を制御する
ドライバー

APPEALING > スタイリング設計を活用した高性能信号灯

e-GRILLE

(イルミネーションフロントパネル)



➔ ブランド アイデンティティの創出

フロントフェイス全体に広がったライティングで
次世代のモビリティに向けた新しいシグネチャを提供

New signaling for signature

(シグネチャを表現する信号灯)



➔ 先進性の表現と差別化

繊細な発光技術で先進性の高い信号灯シグネチャ
アニメーションの電子制御でユーザー体験も向上

SAFER > ドライバーと道路利用者の視認性最適化

HD LIGHTING

(高精細アダプティブドライビングビーム)

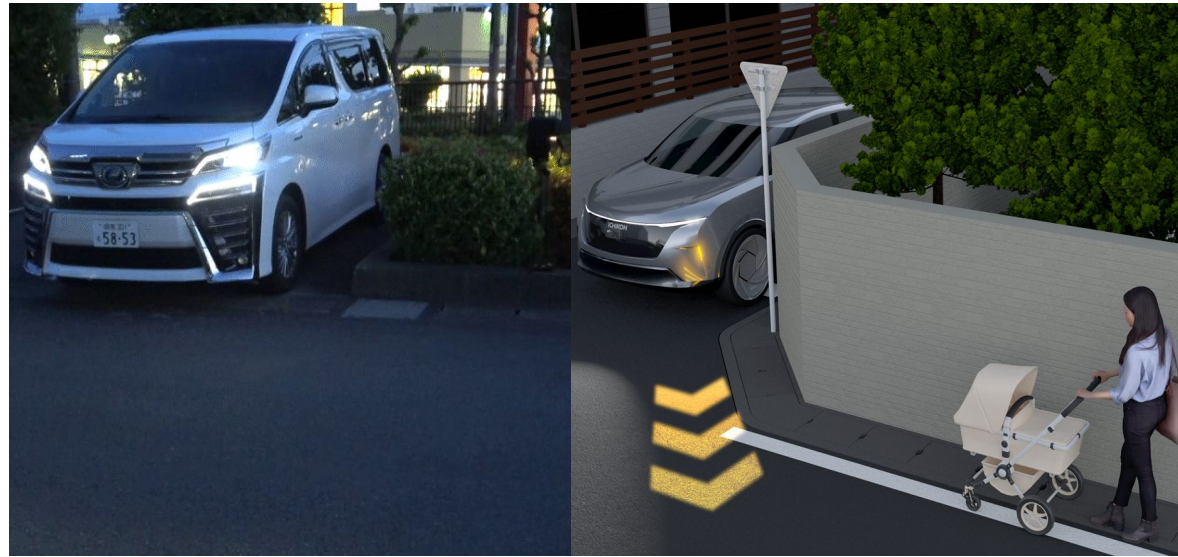


➔ 夜間のドライバーの視界を最大限にする技術

数万ピクセルに分割された照射範囲を個別に制御し夜間の運転環境におけるドライバーの視認性を向上、安全性とドライバーのストレス軽減に貢献

SIGNAL ROAD PROJECTION

(路面描画プロジェクション)



➔ 道路ユーザーとの衝突事故防止に貢献

道路利用者(交通弱者)へ車両の存在や危険を事前にわかりやすく伝え、接触事故の低減に寄与する
走行音の静かな電気自動車においても効果的

COMMUNICATION > ADAS車両及び自動運転へのソリューション

HD PICTURE LIGHTING

(高精細路面描画ライティング)



→ ライティングでの情報提供

路面状況や車両の動きを、高解像度の赤色灯で表示し、乗員や周囲のドライバーに情報を提供

e-Face

(自動運転車向け外向けHMI)



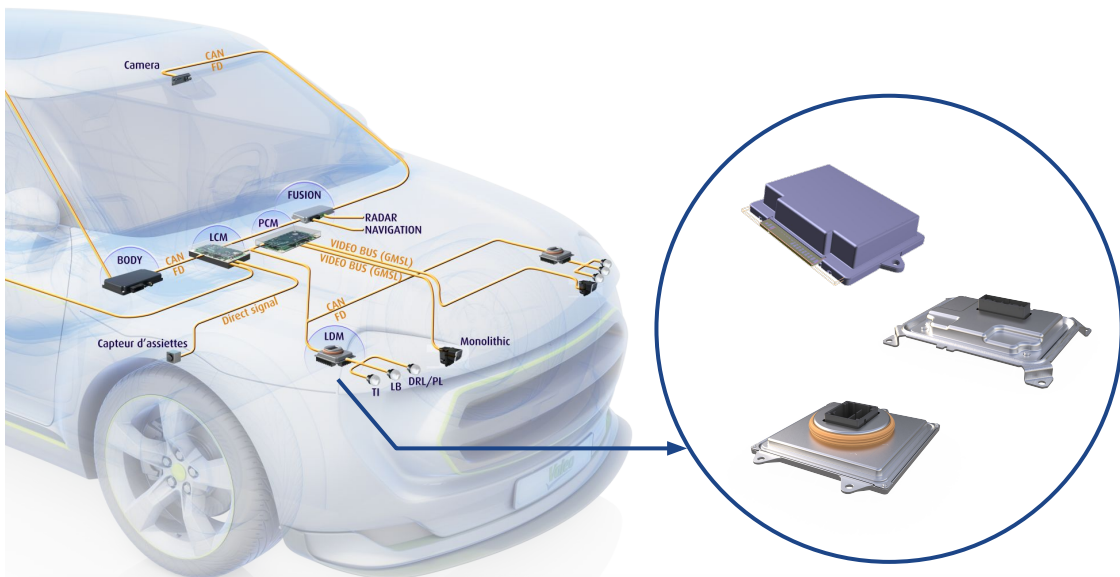
→ 信号灯やディスプレイによる情報表示

ドライバーが不在になるレベル4の自動運転サービスにおいても、e-Faceを活用して適切なコミュニケーションを取り、乗員にも交通利用者にも安全・安心でスムーズな運行を実現

SYSTEM > 多様なライティング機能を制御するコントローラとセンサーとの融合

CONTROLLER

(LEDヘッドランプモジュール用ドライバー)



SENSOR INTEGRATION

(センサー内蔵ランプ)



Ford Ranger rear lamp



➔ LED DRIVERS

複雑化するライティングの制御を行うLDMやECUをライティングシステムとして提供

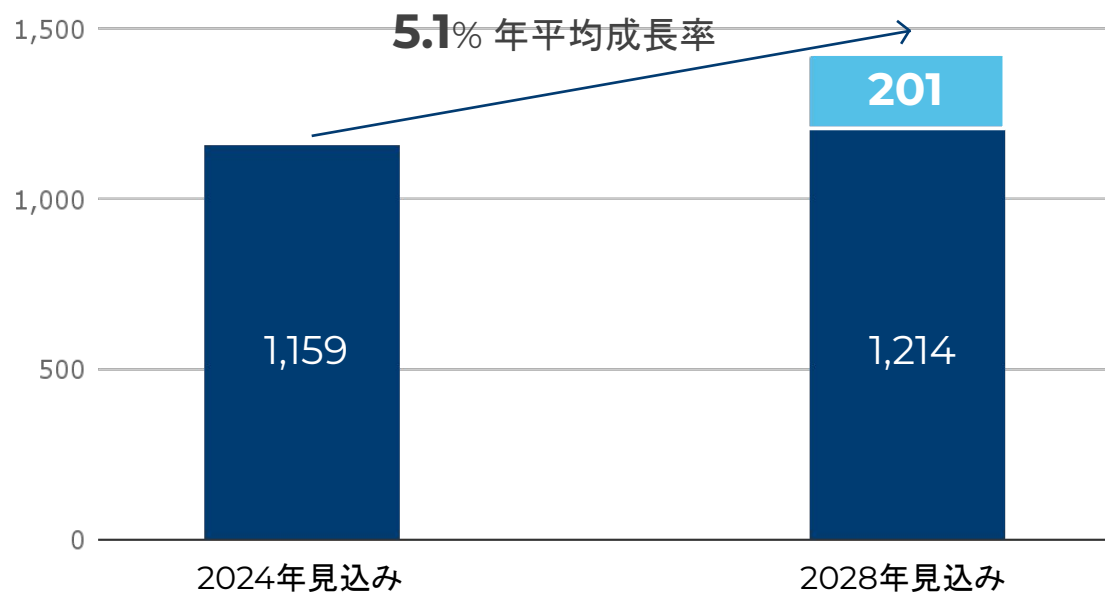
➔ レーダー/カメラを内蔵したライティング

前方/後方をセンシングするレーダーやカメラをライティング製品へ一体化
省スペース、汚れ等による検知能力低下の防止、意匠性の向上

中期経営計画の概要

現在、非常に厳しい外部環境が続いているが、新規事業分野を獲得して成長を達成

単位: 億円/四捨五入



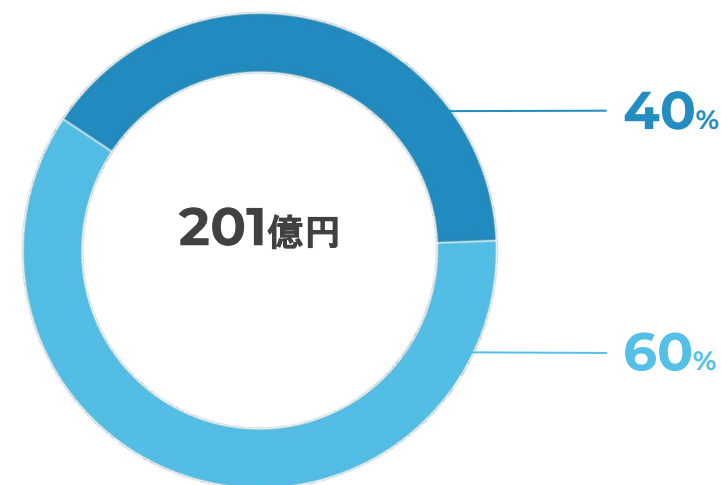
売上高 **1,159**

営業利益率 **3.9%**

1,415

~7.0%

新規事業分野



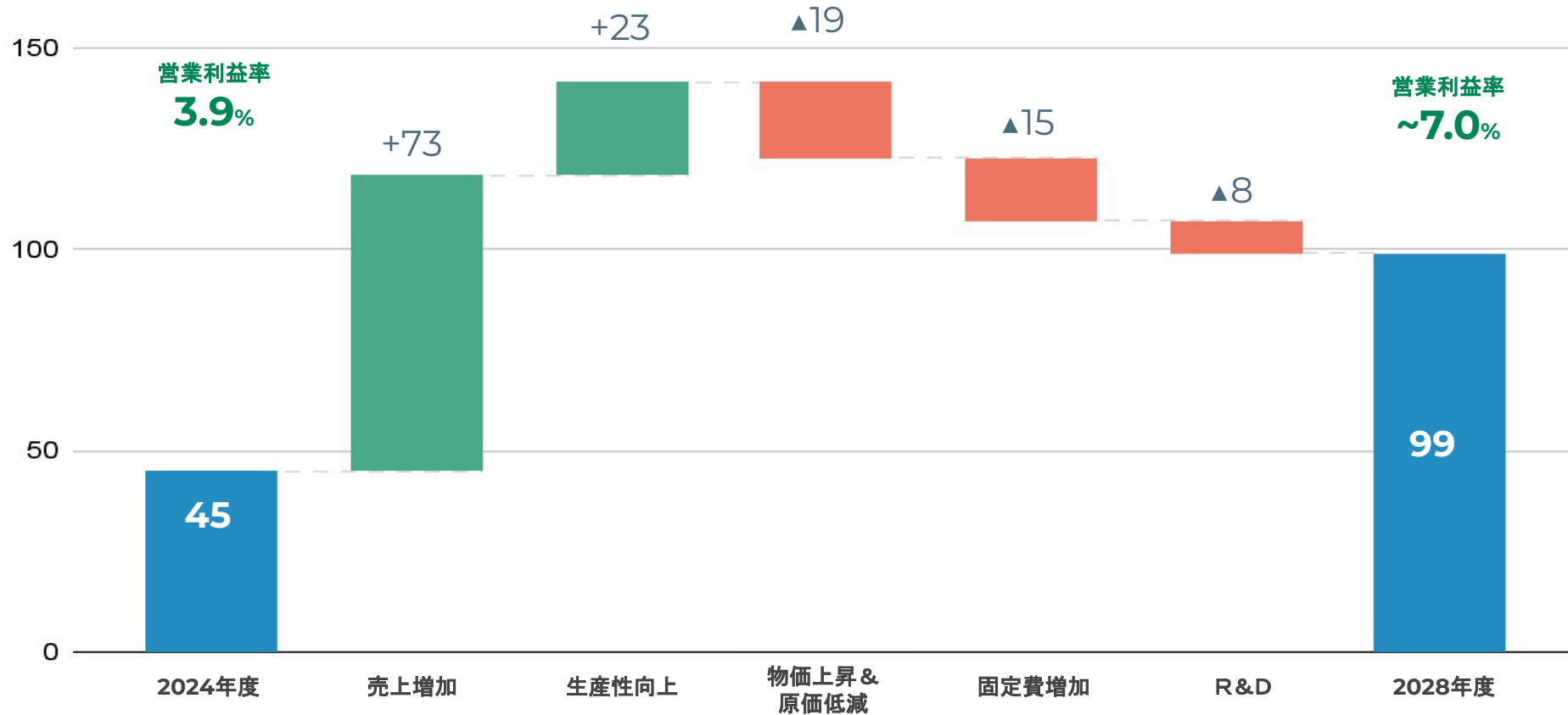
- 新テクノロジー
- 新規顧客 & 新プロジェクト

中期の見通し:収益性ロードマップ (2024年 vs 2028年)

【営業利益】

- ◆ 採算性を伴った売上成長 と生産性向上 により、物価上昇、顧客への原価低減、固定費増加、研究開発費増加等の負担をカバーし、収益向上を達成

単位:億円/四捨五入



成長戦略

将来の成長への**基盤強化フェーズ**

成長達成フェーズ

1200億円～

売上高 安定的に確保

1400億円～

売上高 成長

成長戦略オプション

新規顧客 & 新プロジェクト

新テクノロジー

新テリトリー #1

新テリトリー #2

FY2024

FY2025

FY2026

FY2027

FY2028

売上高
2028年影響額

120 億円

80 億円

90 億円

検討段階

キャッシュアロケーション戦略

財務戦略

営業キャッシュフロー

2025年~2028年
(4年間累計)
410 億円

現金・現金同等物

2024年末 見込み
280 億円

財務健全性の確保
170 億円
(2028年売上高の12%)

投資キャッシュフロー
2025年~2028年
(4年間累計)
440 億円

- ▶ 経営基盤強化 **150 億円**
- ▶ 成長戦略 **290 億円**

株主還元
2025年~2028年
(4年間累計)
80 億円



経営戦略

戦略1

経営基盤強化 **150 億円**

- ▶ 競争力強化
- ▶ BCPの強化
- ▶ 2050年までにカーボンニュートラルの達成

戦略2

成長戦略 **290 億円**

- ▶ 新テクノロジー 70 億円
- ▶ 新プロジェクト (非日系OEM含む) 40 億円
- ▶ 新テリトリー 180 億円

株主還元策

将来の成長への**基盤強化フェーズ**

成長達成フェーズ

1200億円～

売上高 安定的に確保

1400億円～

売上高 成長

目標 配当性向 30%<

または

目標 DOE 2.5%

予想配当総額

80 億円

FY2024

FY2025

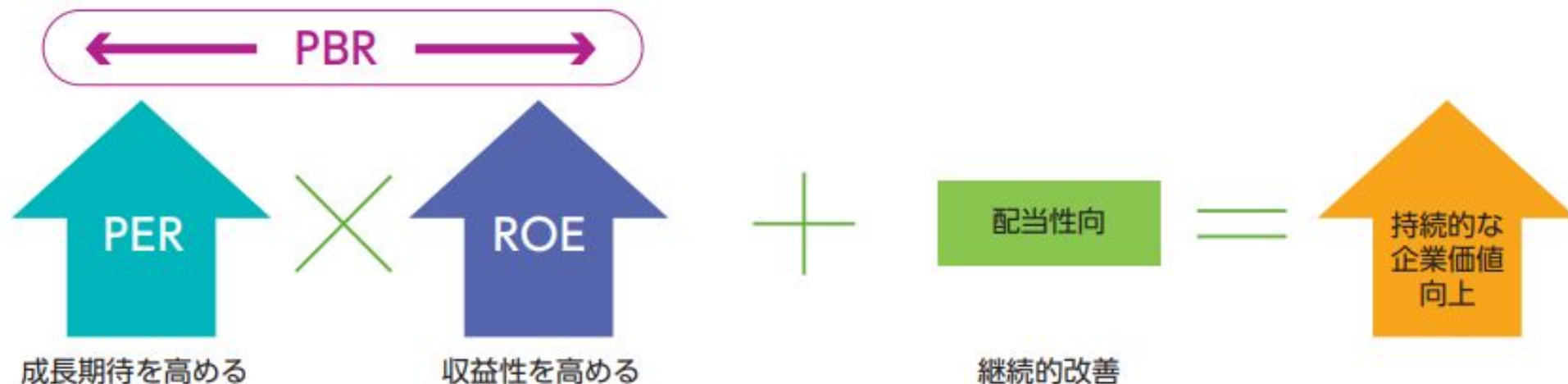
FY2026

FY2027

FY2028

04 PBRに関して

PBR - 成長戦略と収益強化により PBR1倍以上を達成



指標	*2023年末実績	2024年予想	2028年目標
PER	7.9倍	10.0倍	12.0倍
ROE	10.4%	6.6%	12.0%
配当性向	17.2%	29.1%	30%~
PBR	0.8	0.7	1.4

*特別利益控除後

予測に関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、市光工業株式会社（以下、当社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

ご利用に際しては、ご自身の判断で御願ひ致します。資料に記載されている見通しなどに基づいて投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失についても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は当社に帰属します。いかなる理由によっても当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

ICHIKOH
a Valeo company